

元んしんぶんり



菖蒲(あやめ)

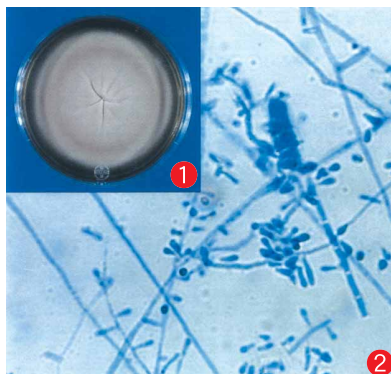
今	白癬(皮膚糸状菌症)—————(1) 声 —————(4)
回	検査情報(CRP)—————(2) 担当理事就任のご挨拶 —————(4)
の	検査Q & A(ハウスダスト)—————(2) メモ(施設内勉強会)—————(4)
紙	センター紹介(血液ガス分析装置)—————(3) 編集後記 —————(4)
面	ひろば(ブロードバンド)—————(3) 中綴じ(-病態へのアプローチ-)

ハクセン 白癬(皮膚糸状菌症)

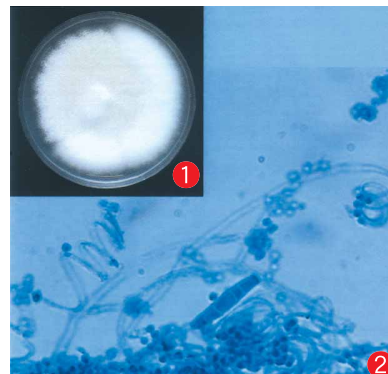
表在性皮膚真菌症(病変が皮膚角質層、皮膚および毛髪・爪に限局して形成され真皮以下には及ばない)の8割強は白癬とされており俗に“みずむし”などと呼ばれています。その症状は特殊な例を除けば比較的軽いものの、いったん皮膚組織に侵入した菌は難治性または再発を繰り返す例が多く、また治療しても容易に再感染が起こり、その発生率のみならず治療対策の面からも表在性皮膚真菌症の中で最も厄介な疾患となっています。

この白癬の診断は、病変部の検体の直接鏡検のみでも可能ですが、原因菌の菌種を同定するには培養検査が必要となります。通常、分離培養には雑菌を抑制するためのクロラムフェニコールおよびシクロヘキシミドを添加した選択培地を用いて患部より採取した検体を接種し、室温または37℃で培養します。発育の遅い菌種や治療薬の影響が残っている場合もあるため、培養陰性と判定するには少なくとも3週間の培養が必要となります。

白癬の原因菌の大半はTrichophyton rubrumおよびT.mentagrophytesの2菌種で占められています。下の写真はその寒天平板上の集落とスライドカルチャーの染色所見です。集落は白色から褐色にいたる様々な色調を呈し、その表面は綿毛状から粉末状です。



T.rubrum



T.mentagrophytes

①サブロー・グルコース寒天 ②スライド培養(ラクトフェノールコトン染色)

栄研化学:真菌症診断のための検査ガイドより引用



検査情報

検査診断のピットフォール CRP

炎症状態ではないのに異常値を示した場合
非常にまれですが、異常蛋白（モノクローナルIgM）の存在で、測定試薬の非特異凝集を起こし、高値に測定されることがあります。他のマーカーの動きを参照する。

炎症が疑われるのに増加を示さないか、予想に反し低値を示した場合

1) 検査時期を考慮する

CRPが上昇し始め、血中で検出できるまでには、刺激発生後、半日程度を要します。従ってこの時期の陰性結果は信頼できません。炎症を強く疑う場合は、白血球数、IL-6の動きが参考になります。また血沈、他の急性期蛋白（ α_1 抗トリプシン、 α_1 酸性糖蛋白など）より2、3日正常化が速いため、回復期では他の検査所見と乖離することがあります。

2) CRPが比較的低値にとどまる疾患の存在

SLE、Crohn病では症状のわりに低値にとどまることがあります。したがってこれらの疾患で高値の場合は感染症、漿膜炎などの合併を疑います。ウイルス性感染症でも低値にとどまる傾向にあります。髄膜炎、肺炎において細菌性かウイルス性かの見当をつけることができます。これらの病態ではもう一つの急性期蛋白SAA（血清アミロイドA）がより明らかな上昇を示す場合があります。

新生児期の値

生下時0.002mg/dl以下で増加し始め、2日目で0.4mg/dlに達し、その後低下し1週で成人値に落ち着く。この時期での測定は高感度測定が必要で、生後変化も考慮すると頻繁な測定が必要となります。特に細菌性髄膜炎を疑うのに有用です。

引用文献

中井利昭 山田俊幸：検査の診断効率とピットフォール、中外医学社出版：P232-P233 1998年を参考に作成（尚転載については許可を得ています）

検査Q & A

Q：ハウスダスト1（H1）、ハウスダスト2（H2）の両アレルゲンを調べる必要はありますか？



A：ハウスダストアレルゲンとして異なった成分を含んでいるH1、H2については、両者をそれぞれ調べる方が理論的にはいいと思われませんが、日本でのハウスダストアレルギーを診断する上で、H1とH2を比較すればH1の方が陽性率が高いことから、H1で代表していくことも可能と思われれます。

血清検査主任 納戸 一美



センターご紹介

血液ガス分析装置（ABL5）

今回は、血液ガス分析装置ABL5についてご紹介します。

血液ガス分析の重要性は、ガス交換と酸塩基平衡の指標であり両者ともに生命維持に必須のものです。血液ガス専用の注射器（ヘパリン入り）を使用して動脈より採血を行い、採血後は直ちに針先にゴムを刺し（空気の混入を防ぐ）、氷水中につけて（3時間以内に測定を行う）届いた検体を直ぐに測定をします。血液ガス分析装置ABL5では、85 μ lの血液から1分以内にpH、PCO₂、PO₂を測定しHCO₃⁻・tCO₂・ABE・SBE・sO₂・SBCを演算します。検体の冷却・測定時間を短くする理由は、血液中の細胞成分（赤血球や白血球など）が酸素を消費して炭酸ガスを出す影響を最小限にするためです。

ABL5は先生方へ、迅速・正確なデータをお届けできる信頼性の高い分析装置です。



ひろば

くらしと防災

昔から怖いものの例えに「地震・雷・火事・親父」という話を良く耳にしました。子供心に何故「地震」が一番なんだろうと疑問に思っていたことをよく覚えています。

3月20日午前10時53分、大自然はその理由を福岡の人々にいやと言うほど教えてくれました。この大きな揺れとともに、福岡の安全神話は完全に崩壊し自然災害はいつどこで起こるか分からないことを体感し心に深く刻むことになりました。

「備えあれば憂いなし」次の天災や人災に備えて日頃から「もしも」を想定し準備しておくことが大切です。



「もしも」の準備は万全ですか？

- | | |
|-------|--|
| 院内では | 防災マニュアルの再点検（今回の反省点を洗い出しマニュアルの訂正・周知徹底） |
| 家庭では | 非常時持ち出し品の準備（チェックリストの作成）
非難場所の確認（近所は？、職場は？等と日頃から家族で話し合しましょう） |
| 情報収集は | ラジオやテレビからの情報は勿論大切ですが、外出時に備えて福岡市の防災メールや地震・津波メールに登録しましょう。（無料）
福岡市の防災・危機管理情報ホームページ http://bousai.city.fukuoka.jp/ |
| 安否確認は | 一般の電話は勿論、携帯電話も繋がらないことを想定し、携帯電話のメール機能を利用したサービスに登録しましょう。（無料）
「iモード災害用伝言板」（各携帯電話会社で同様のサービスがあります。） |

福岡市医師会では、会員向けサービスとして「モバイル一斉連絡システム」を構築し登録会員を募集しております。このサービスは、行政が実施している「地震・津波」等の情報を提供するとともに、登録会員の安否確認や被害状況を収集し行政（消防等）と連携をとり迅速に情報配信する仕組みです。是非、「もしも」に備えてご登録下さい。

詳しい内容は、福岡市医師会ホームページ <http://www.city.fukuoka.med.or.jp/> 又は、福岡市医師会電算課（TEL 852-1505）宛お尋ね下さい。

（電算課長 西野 満）

声



父の代より46年間平尾で開業させて頂き、医師会臨床検査センターには、非常にお世話になってまいりました。私共は外科・整形外科の専門ですが、長い間患者さんやその御家族との関わりが深く専門外でも相談を受ける事が多く、その時資料となるデータ等は貴センターにお願いをし、結果その専門医に紹介するという事が迅速に出来、大変満足しています。届けて頂く「えんしんぶんり」は情報や豆知識が内容豊富で日常参考にさせて頂いています。又、集配に見える女性スタッフの笑顔・対応は清々しく、FAXでの至急結果サービス等々も、とても有り難いものです。インターネットの普及などで患者さんの医療知識が向上する中、正確なデータは医療の根基とも言えるものです。センタースタッフの努力と協力に感謝しつつ、医師会検査センターの発展を祈念し、これからも無理な要望に答えて頂きたく、宜しくお願い致します。 福岡市中央区平尾2丁目3-14 医)別府外科医院 院長 別府和茂

理事就任のご挨拶



今年度から入江尚理事の後任として臨床検査センター担当に就任致しました竹中賢治です。平成14年から続く診療報酬のマイナス改定により、どの臨床検査部門も苦しい経営を強いられており当センターも例外ではありません。しかしながら先生方のお役に立つべく、より精度の高い、よりサービスの向上した検査業務を提供すべく職員一丸となって努力いたす所存ですのでよろしくお願いいたします。

今年度目標を以下のごとく考えています。

検査受付システムが老朽化し、また個人情報保護法への対応が必要なことから更新を行う予定です。これは柔軟性に優れたオープンシステムに変更することにより、先生方の電子カルテやオーダーリングシステムへの対応が可能となり、検査オーダーの受け入れ体制強化とより付加価値の高い検査データの提供が可能になります。甲状腺ホルモン検査等の需要の多い外注検査項目を可能な限りセンター内に取り込み、迅速な結果報告に努めたいと存じます。医師会活動に関する情報の提供に従来どおり力を入れ、より一層のサービス向上に努めていきたいと考えます。

これからもよろしくご愛顧ご支援のほどお願い申し上げます。

担当理事 竹中賢治

メモ

施設内勉強会 臨床検査技師・営業担当者向（参加要予約）

「症例検討」	5月26日(木)	16:00	於)7階和室
「臨床検査の基礎知識VOL.2」	6月21日(火)	14:00	於)第3会議室
「症例検討」	6月30日(月)	16:00	於)7階和室
会議			
臨床検査センター運営会議	5月27日(金)	18:30	於)第3会議室
臨床検査センター運営委員会	5月27日(金)	19:30	於)役員室

編集後記 初夏の日差しが眩しくさわやかな季節となりましたが、いまだ余震の恐怖と隣りあわせという状態が続いています。早く夏空のように気分爽快としたいものです。

表紙の菖蒲について・・・あるお坊さんが、杜若の精と、その精が姿を変えた村娘とを見比べて、「似たり似たり杜若、花菖蒲」と口走ったという話が、能楽家世阿弥が作った「杜若」という能の中にあります。そこから、どちらも美しく、似ていて迷ってしまうことを「いずれ菖蒲か、杜若」というようになったということです。また、「太平記」には、菖蒲という美人を好きになった源頼政の話があります。天皇が頼政の心を試そうと、ずらりと美人を並べて、遠くにいる頼政にその中から菖蒲を見つけさせるテストを行いました。そんな絶体絶命の場で、頼政が考え出した方法は、大声で菖蒲の花の歌を詠むこと。そのときにぽっと頬を赤らめた女官こそ菖蒲で、首尾よく彼女を見つけることができた頼政は、その後、菖蒲と幸せに暮らしたそうです。

原産地：アジア北部・東部、日本 花言葉：信じるものの幸福、良い便り

開花時期：5月～6月 最盛期：5月 花色：紫、黄色地に紫の網目、白、ピンク 花持ち：3日程度

編集委員 喜久正和 大塚英樹 椎葉 満 井原慎治 奥野隆子 掛石利彦

〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号

福岡市医師会臨床検査センター TEL(092-852-1506) FAX(092-852-1510)

http://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html E-mail: fma@city.fukuoka.med.or.jp